

## SARS-CoV-2 ワクチン接種後の副反応調査および抗体価維持について

◎和泉 瑠音<sup>1)</sup>、若林 恵里奈<sup>1)</sup>、中曾 友美<sup>1)</sup>、堀尾 なつき<sup>1)</sup>、田中 陽<sup>1)</sup>、山崎 正俊<sup>2)</sup>、長野 仁<sup>2)</sup>  
医療法人 行堂会 長野病院 臨床検査科<sup>1)</sup>、医療法人 行堂会 長野病院 循環器内科<sup>2)</sup>

**【はじめに】**2019年から発生し、世界的パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は現在のところ本邦においても有効な治療法が確立されていない。唯一の感染予防策としてワクチン接種が開始されその効果が確認されているが、本邦におけるワクチン接種の安全性と有効性、さらにはワクチン接種後の抗体価維持とCOVID-19 予防効果についての報告は未だ十分ではない。

**【目的】**SARS-CoV-2 ワクチン接種後における副反応を含めた健康状態と、ワクチン接種後のIgG 抗体価の動態変化ならびにその後の感染状況を検証することでワクチンの安全性と有効性を評価する。

**【対象・方法】**対象は2021年4月から6月の間にSARS-CoV-2 ワクチンを2回接種した432人の健康状態を評価し、接種後1、3、6か月後のIgG 抗体価の動態変化、さらにはその後の感染状況に関する臨床疫学研究(対象者の年齢は50.7±19.8(22-103)歳)を実施した。

**【結果】**ワクチン2回接種後に局所症状である疼痛等を62.5%、37.5度以上の発熱を含む全身症状を34.5%で認め

たが重篤な副反応の発生を認めなかった。ワクチン2回接種1か月後の接種者全員の抗体陽性(>50.0 AU/ml)が確認され、平均値は7102.7±5948.3AU/ml(n=432)であった。年齢の増加に伴い抗体価は減少する傾向が認められた。ワクチン2回接種3か月後の抗体価の平均値は2462.3±2045.3AU/mlであり、1か月後の抗体価に対して有意な減少が認められた( $p<0.05$ , n=408)。1か月後から3か月後の抗体価の減少率は60±14.4%(17.0%-89.1%)で、観察期間を通して新たな感染者の発生を認めなかった。

**【考察・結語】**SARS-CoV-2 ワクチンは本邦においても安全に実施することが可能であり、接種後1か月のIgG 抗体価は感染予防に有効な高力価陽性となることが確認された。SARS-CoV-2 ワクチン2回接種から3か月後の抗体価は約60%減少していることが認められ、半年後はさらに減少することが予想される。抗体価減少によるブレイクスルー感染を予防するためにもSARS-CoV-2 ワクチンの3回目接種の検討が望ましく今後の詳細な検討が待たれる。

医療法人 行堂会 長野病院 臨床検査科 0866-92-2361